

## 歴史に選ばれてきたその草は、 驚異の高性能素材でもあった。

茶の湯や禅など、数々の独自文化を育んできた日本の畳。その長い歴史の中で、何故い草が材料として選ばれ、しかも今日に至るまで残ってきたのでしょうか。もしかすると、先人たちは気付いていたのかもしれませんが。実は、い草という植物には様々な不思議な働きがあり、気付かないうちに、空間を心地良い状態に保ってくれているのです。

### 1. 優れた消臭性

い草は悪臭の原因となる様々な化学物質を吸着します。飲食店やオフィスでのタバコ臭、汗臭、その他の人間が感じる不快な大半の臭いの原因物質も抑え、気持ちいい空気環境を整えます。しかも、その消臭性能は長年にわたって維持されます。

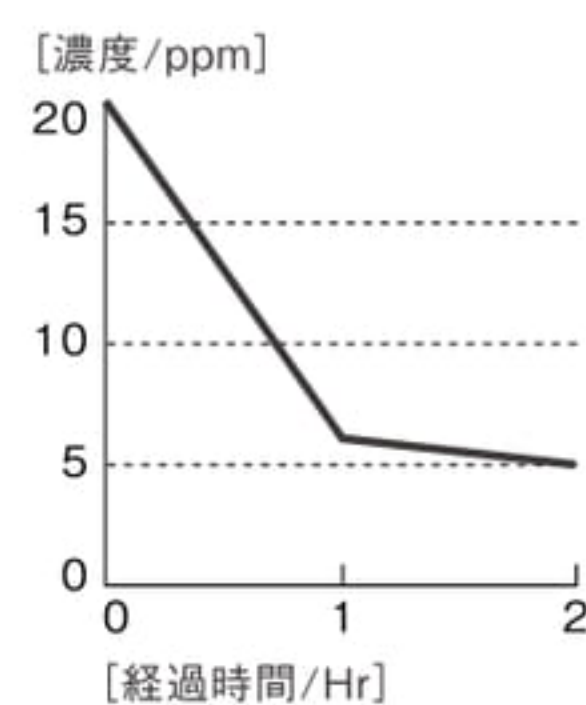
#### 臭い減少率

化学物質	初期濃度	減少率[%]
アンモニア	100ppm	99
酢酸	30ppm	95
イソ吉草酸	38ppm	98
インドール	約33ppm	96
ノネナール	14ppm	94

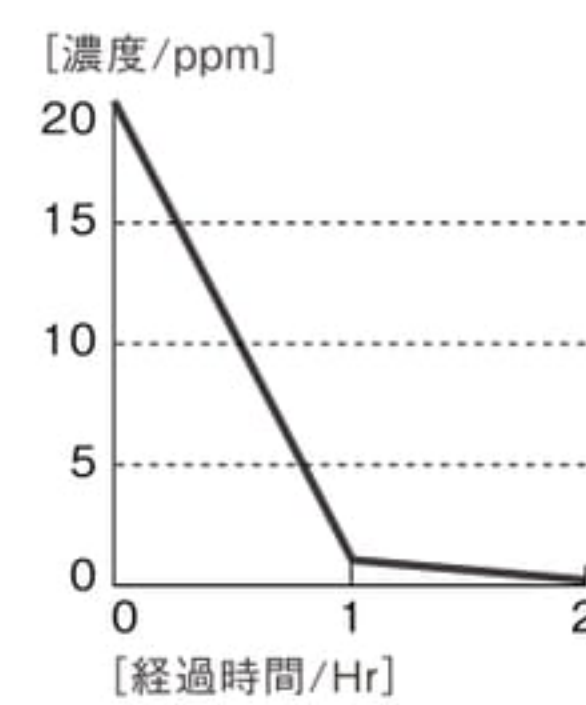
### 2. 喘息、シックハウス 症候群の予防効果

い草の内部は六角形が重なったハチの巣のような構造で、その繊維と繊維の間には節があり、たくさんの小部屋をつくっています。内部の表面積が広く、スポンジ状になったい草が呼吸することで、空気中の二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) やホルムアルデヒドを吸着し、室内の空気をきれいにしてくれます。

#### ホルムアルデヒド 残存濃度



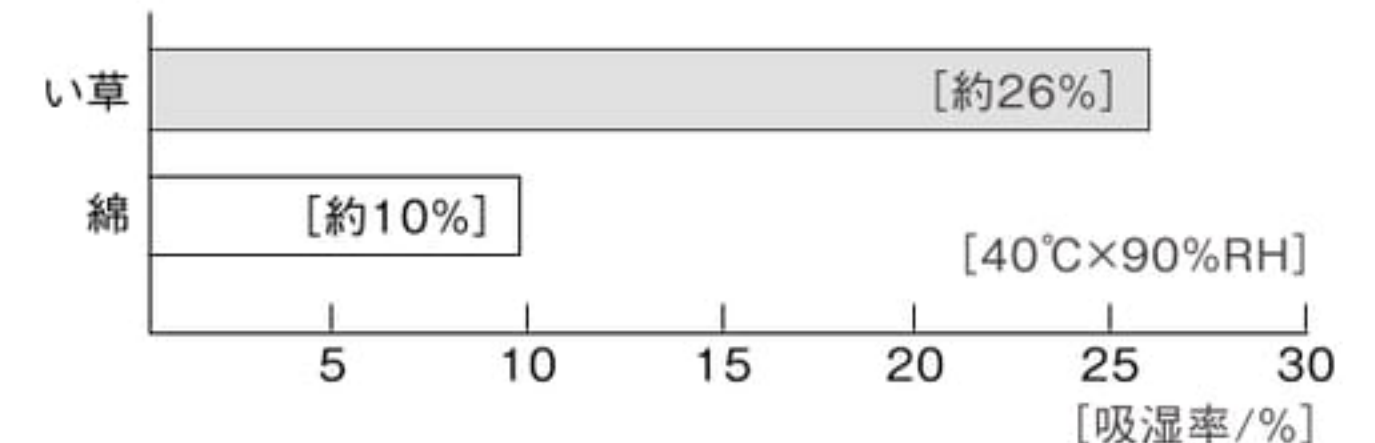
#### 二酸化窒素 残存濃度



### 3. 部屋の湿度を快適化

い草は非常に高い吸湿性を備え、乾燥時には蓄えた水分を室内に放出する特性を備えています。下記に示した図からも、湿度の変化に対応し、優れた湿度調整性能が分かります。

#### い草の吸湿率



#### 和室と洋室の湿度変化比較

